

# 各教育事務所の調査結果

## 阿蘇教育事務所

- 1 教科に関する調査の結果
  - (1) 教科に関する調査の結果概要
  - (2) 教科に関する調査の成果と課題（小学校、中学校）
- 2 質問紙調査の結果
  - (1) 児童生徒に対する調査の主な結果
  - (2) 学校に対する調査の主な結果
  - (3) 質問紙調査に関する成果と課題
- 3 今後の重点取組

# 1-1 (1) 教科に関する調査の結果概要

## 本管内の概要

- ・ 小学校では、国語は全国平均を上回っており、算数は全国平均を下回っている。
- ・ 中学校では、国語は全国平均と同じ状況にあり、数学は全国平均を下回っている。

【小学校6年生】		
	国語	算数
管内	65%	68%
県	66%	70%
全国	64.7%	70.2%

【中学校3年生】		
	国語	数学
管内	64%	55%
県	64%	55%
全国	64.6%	57.2%

※表中の数値は平均正答率(%)、県の値は国から整数値で公表

# 1－(2) 教科に関する調査の成果と課題 (小学校)

## 成 果

### 国語 成果が見られた内容

- 目的や意図に応じて、理由を明確にしながら自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること【問題番号 3二】
- 文の中における主語と述語の関係を捉えること【問題番号 3三(2)イ】
- 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うこと (げんいん)【問題番号3三(1)エ】

### 算数 成果が見られた内容

- 条件に合う時刻を求めること【問題番号 1(4)】
- 複数の図形を組み合わせた図形の面積について、量の保存性や量の加法性を基に捉え、比べること【問題番号 2(2)】

## 課 題

### 国語 課題が見られた内容

- 文章全体の構成を捉え、内容の中心となる事柄を把握すること【問題番号 2一】
- 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うこと (つみ重ね)【問題番号 3三(1)ウ】

### 算数 課題が見られた内容

- 複数の図形を組み合わせた平行四辺形について、図形を構成する要素などに着目し、図形の構成の仕方を捉えて、面積の求め方と答えを式や言葉を用いて記述すること【問題番号 2(3)】
- 異種の二つの量の割合として捉えられる数量(速さ)の比べ方や表し方について理解できること【問題番号 1】
- 商が1より小さくなる等分除(整数)÷(整数)の面で、場面から数量の関係を捉えて除法の式に表し、計算をすること【問題番号 4(2)】
- 集団の特徴を捉えるために、どのようなデータを集めるべきかを判断すること【問題番号 3(5)】

# 1－（2）教科に関する調査の成果と課題（中学校）

## 成 果

### 国語 成果が見られた内容

- 文章に表れているものの見方や考え方を捉え、自分の考えをもつこと【問題番号 3四】
- 書いた文章を互いに読み合い、文章の構成の工夫を考えること【問題番号 2二】
- 書いた文章を読み返し、語句や文の使い方、段落相互の関係に注意して書くこと【問題番号 2一】

### 数学 成果が見られた内容

- 関数を用いて事象を捉え考察する場面において必要となる事象の特徴を的確に捉えること、及び関数の意味を理解すること【問題番号 4】
- 錯角が等しくなるための2直線の位置関係を理解し、筋道を立てて、事柄が成り立つ理由を説明すること【問題番号 9（2）】
- ヒストグラムからある階級の度数を読み取ること【問題番号 8（1）】

## 課 題

### 国語 課題が見られた内容

- 文脈の中における語句の意味を理解すること【問題番号 3一】
- 場面の展開、登場人物の心情や行動に注意して読み、内容を理解すること【問題番号 3二】
- 相手や場に応じて敬語を適切に使うこと【問題番号 4三】

### 数学 課題が見られた内容

- 扇形の弧の長さがその中心角の大きさに比例することを理解すること【問題番号 3】
- 事象を数学的に考察する場面で事象の特徴を的確に捉え、筋道を立てて、事柄が成り立つ理由を説明すること。また、発展的に考え、事柄の特徴を数学的な表現を用いて説明すること【問題番号 6（1）（2）】
- データの傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明すること【問題番号 8（3）】

## 2 - (1) 児童生徒に対する調査の主な結果①

数値は、選択肢「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」などの肯定的評価の合計を示す。

単位(%)

	質問項目	小学校			中学校		
		管内	県	全国	管内	県	全国
慣 基 等 本 的 生 活 習	朝食を毎日食べていますか	96.3	95.1	94.9	93.4	94.2	92.8
	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	89.9	91.3	90.4	80.8	93.3	92.7
	普段（月曜日から金曜日）、一日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含みます。）をしますか（「4時間以上」+「3時間以上、4時間より少ない」の割合）	28.2	28.3	29.0	24.8	25.2	32.3
規 挑 範 戦 意 心 識、 達 自 己 成 有 用 感 等 感	自分には、よいところがあると思いますか	73.3	76.1	76.9	72.4	74.4	76.2
	将来の夢や目標をもっていますか	85.2	80.3	80.3	70.0	69.5	68.6
	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	97.0	96.6	96.8	97.7	96.8	95.9
	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	93.4	95.5	95.5	96.0	95.9	95.0
	学校に行くのは楽しいと思いますか	87.4	87.3	83.4	86.4	85.3	81.1
	自分の思っていることや感じていることをきちんと言葉で表すことができますか	63.9	69.5	70.3	75.2	74.7	75.2
学 習 習 慣 等	家で自分で計画を立てて勉強をしていますか（学校の授業の予習や復習を含みます。）	70.3	73.0	74.0	60.2	61.2	63.5
	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含みます。）（小学校は「30分以上」、中学校は「1時間以上」の割合）	82.0	88.1	87.0	71.7	72.2	75.9
	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか。（教科書や参考書、漫画や雑誌は除きます。）（「2時間以上」+「1時間以上、2時間より少ない」+「30分以上、1時間より少ない」+「10分以上、30分より少ない」の割合）	59.9	60.5	61.2	54.6	45.8	50.1

※質問項目の中から抽出

## 2 - (1) 児童生徒に対する調査の主な結果②

数値は、選択肢「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」などの肯定的評価の合計を示す。

単位(%)

	質 問 項 目	小学校			中学校		
		管内	県	全国	管内	県	全国
社会 地域 や	今住んでいる地域の行事に参加していますか	67.7	61.0	58.1	54.6	43.3	43.7
	地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがありますか	55.3	53.4	52.4	53.6	44.0	43.8
の I 活 用 機 器	あなたは学校で、コンピュータなどのICT機器を、他の友達と意見を交換したり、調べたりするために、どの程度使用していますか（「ほぼ毎日」+「週1回以上」の割合）	56.4	56.6	39.0	49.9	51.2	34.8
	学習の中でコンピュータなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか	95.8	95.4	94.5	94.8	94.8	93.2
か ら の 授 業 改 善  主 体 的 ・ 対 話 的 で 深 い 学 び の 視 点	学級の友達との間で話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、友達の考え（自分と同じところや違うところ）を受け止めて自分の考えをしっかりと伝えていましたか	78.2	80.1	82.6	80.8	80.4	83.7
	授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していましたか	58.3	57.7	63.5	52.7	52.2	62.0
	授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか	75.2	77.2	78.2	77.8	77.8	81.0
	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり広げたりすることができていますか	74.9	76.7	78.8	77.0	76.1	77.8
	学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか	74.0	78.3	78.3	71.4	73.0	74.6
	総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいましたか	72.1	73.2	73.0	68.4	69.8	70.2
響 ル 新 型 コ ロ ナ ウ イ の 影 響	多くの学校が休校していた期間中、勉強について不安を感じましたか	44.7	50.6	55.2	56.2	57.9	62.8
	多くの学校が休校していた期間中、計画的に学習を続けることができましたか	69.6	66.3	64.6	37.7	36.8	37.6
	多くの学校が休校していた期間中、規則正しい生活を送っていましたか	61.6	63.7	63.1	50.6	49.4	48.4

※質問項目の中から抽出

# 2 - (2) 学校に対する調査の主な結果①

数値は、選択肢「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」などの肯定的評価の合計を示す。

単位(%)

	質 問 項 目	小学校			中学校		
		管内	県	全国	管内	県	全国
生徒指導	調査対象学年の児童生徒は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか	100	90.7	88.5	90.0	91.0	96.0
	調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、学校生活の中で、児童生徒一人一人のよい点や可能性を見付け評価する（褒めるなど）取組をどの程度行いましたか	100	99.4	98.7	100	99.4	98.6
学校運営、教員の資質向上に関する状況	校長として、教員が授業で問題を抱えている場合、率先してそのことについて話し合うことを行いましたか	100	82.3	73.9	90.0	62.8	55.5
	指導計画の作成に当たっては、各教科等の教育内容を相互の関係で捉え、学校の教育目標を踏まえた横断的な視点で、その目標の達成に必要な教育の内容を組織的に配列していますか	94.1	94.9	94.4	100	90.4	90.6
	児童生徒の姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立していますか	100	96.7	93.6	100	92.2	92.7
	校長のリーダーシップのもと、研修リーダー等を校内に設け、校内研修の実施計画を整備するなど、組織的、継続的な研修を行っていますか	100	98.8	98.5	100	98.2	97.2
主体的・対話的で深い学びに関する視点・取組の状況	調査対象学年の児童生徒は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか	94.1	88.0	85.3	90.0	83.3	86.0
	調査対象学年の児童生徒は、授業において、自らの考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立などを工夫して、発言や発表を行うことができていると思いますか	88.2	62.3	68.3	80.0	73.7	75.6
	調査対象学年の児童生徒は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか	88.2	74.4	75.8	90.0	78.5	83.6
	調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしましたか	94.1	91.0	88.1	100	91.7	86.9
家庭学習	調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、家庭学習の課題の課し方について、校内の教職員で共通理解を図りましたか（教科共通）	94.1	90.9	90.6	100	89.8	85.5
	調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、家庭学習の取組として、学校では、児童生徒に家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えるようにしましたか（教科共通）	100	96.1	95.5	100	95.8	91.9

※質問項目の中から抽出

## 2 - (2) 学校に対する調査の主な結果②

数値は、選択肢「よく行った」「どちらかといえば、行った」などの肯定的評価の合計を示す。

単位(%)

	質 問 項 目	小学校			中学校		
		管内	県	全国	管内	県	全国
ICT	コンピューターなどのICT機器を活用した取組を教職員と児童〔生徒〕がやり取りする場面ではどの程度行っていますか。（「よく活用している」+「どちらかといえば活用している」の割合）	76.5	68.7	44.7	70.0	59.9	41.5
	コンピューターなどのICT機器を活用した取組を児童〔生徒〕同士がやり取りする場面ではどの程度行っていますか。（「よく活用している」+「どちらかといえば活用している」の割合）	64.7	50.6	30.1	60.0	39.5	25.8
小中連携	前年度までに、近隣等の中学校（小学校）と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定など、教育課程に関する共通の取組を行いましたか	76.5	65.7	59.1	80.0	76.6	65.0
	平成31年度の全国学力・学習状況調査の分析結果について、近隣等の中学校（小学校）と成果や課題を共有しましたか	82.4	52.7	48.1	90.0	57.5	48.5
中等の全学調 の結果 活用	全国学力・学習状況調査の結果を地方公共団体における独自の学力調査の結果と併せて分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映を行っていますか	100	98.8	88.7	100	94.6	85.8
新型コロナウイルス感染症の影響	学校の全部を休業としていた期間中、家庭学習としてどのようなものを課していましたか（「全校で実施」+「一部の学年・学級で実施」の割合）						
	・教科書に基づく学習内容の提示	100	98.1	93.4	100	99.4	92.5
	・学校が作成したプリント等を配布（電子メールや学校のHP等を活用して配信する場合を含む）	100	96.9	95.7	100	96.4	95.3
	・教科書会社やその他民間が作成したプリント等を配布（電子メールや学校のHP等を活用して配信する場合を含む）	94.1	90.4	85.8	80.0	77.8	69.6
	・児童生徒の自由研究や自主学習ノート等の学習	100	91.6	85.0	90.0	81.4	74.1
	・学校が作成した学習動画等を活用した学習	76.5	33.1	23.2	60.0	33.6	26.7
	・同時双方向型オンライン指導を通じた学習	41.2	29.2	5.7	40.0	22.8	7.4

※質問項目の中から抽出

## 2 – (3) 質問紙調査に関する成果と課題

### 【児童生徒に対する調査から】

- 小中学校ともに「地域や身近な社会とのつながり」を実感しながら生活できている。また、「ICT機器の活用」に関して日常的な有効活用が推進されている。
- 小中学校ともに「学習習慣」及び「主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善」に関する項目が全国を大きく下回っている。学校の授業と家庭学習をつなげ、学習習慣の形成を図ること、また児童生徒の課題意識を高め、主体的に考え、積極的に話し合うことで、深い学びへとつなげる授業改善が必要である。

### 【学校に対する調査から】

- 小学校では、「児童のよい点や改善点などを積極的に評価し、学習したことの意義や価値を実感できるようにしているか」の項目が全国を下回っている。児童一人一人の評価及び適確に指導に活かす工夫を行っていく必要がある。
- 中学校では「話し合いなどの活動で、相手の考えを最後まで聞くことができているか」、「生徒の発言や活動の時間を確保して授業を進めているか」の項目が全国を下回っている。教育活動全体における主体的な発言や話し合い活動の充実を図る必要がある。

### 【新型コロナウイルス感染症の影響に関して】

- 新型コロナウイルス感染症の影響があった時期も、勉強に関して不安を感じた児童生徒は少なく、学校でも様々な工夫（オンラインの活用等）をしながら学習を進めていたことが分かる。

# 3 今後の重点取組

## 《 阿蘇教育事務所 今後の重点取組 》

- 1 課題分析 全国学力・学習状況調査結果に加え、熊本県学力・学習状況調査結果を踏まえて管内児童生徒の学力の課題を分析・把握する。
- 2 小学校及び中学校段階で「やるべきこと」の周知徹底
  - (1) 学力向上の機運を高め、学校総体としての力量を高める
  - (2) 教科指導へつながる学級経営

### 【具体的取組内容】

#### ①「阿蘇の『授業力』向上のための3つの重点事項」の周知徹底

- ※教育長及び校長等会議、さらには教頭等研修等の各研修会にて内容を周知
- ※児童生徒や教職員のみならず、保護者や地域への周知や協力依頼も必要

#### ②「学力向上研修」の実施

**目的** 全国学力・学習状況調査及び熊本県学力・学習状況調査における通過率が低位な問題等を分析し、阿蘇管内の課題等との関連性を明らかにしながら、本管内における課題の焦点化を図り、学力の推進に資する。

**日時** 【小学校及び義務教育学校前期課程】令和3年9月28日（火）、【中学校及び義務教育学校後期課程】令和3年9月30日（木）

#### 研修のテーマ及び研修内容

テーマ：「すべての子供たちの学びを保障する教科指導と教師の学力向上を目指して」

研修1：国語、算数・数学、英語（中学校）について、担当指導主事による講話を行う

研修2：テーマに沿った「各学校の取組」について協議を実施

**事後指導** ア 郡市教務主任研修会（10月29日実施）において、学力向上研修で協議した「各学校の取組」について更に検討する。

イ 「各学校の取組」に関しての進捗状況を確認し、連携を図りながら、「学力向上検証改善サイクル」を確認する。

#### ③教育事務所による学校支援訪問の実施

〔学校支援訪問〕 2校（のべ6人への支援訪問実施）〔教員支援訪問〕 22人への支援実施予定

※複数回の利用（事前の学習構想案作成等）による効果的な支援

※教育センターと連携した支援の充実

「阿蘇の『授業力』向上のための3つの重点事項」  
〔重点1〕児童生徒にとって「好き」「分かる」と感じる授業づくり  
〔重点2〕児童生徒が学びの主体となり、誰一人取り残さないための授業づくり  
〔重点3〕教師の授業力向上（日々の授業実践や研究授業を通して）  
〔教科指導の基盤となる学級経営〕  
信頼と笑顔あふれる学級経営